

//// 洲本市議会だより ////

みんなのぎかい

2025.8.15 vol.76

特集 「Sumoto のミライ」プロジェクト

公募写真 第21号

写真タイトル：ひと休み 撮影者：kaguyaさん 撮影場所：大浜海岸

「Sumotoのミライ」 —高校生が考える

洲本高校の提案

- 1, 洲本の住みやすさ向上
- 2, 地域の祭りを増やす
- 3, 淡路島の自然をいかして
- 4, 多目的なイベント施設

令和7年7月16日、洲本市議会
政策提案発表会が行われ、



交通整備・
治安改善で
住みやすいまちに

にしおか かのん
西岡 華暖さん



地元主催の祭に
地域外の人も
気軽に参加を

かたやま ゆうと
片山 裕翔さん



自然を生かした
観光事業で
地域の発展を

わきむら まなと
脇村 学翔さん



音楽ライブや
大規模イベントで
若者を誘致

ひらの おと
平野 響さん



五色地域に大きな
商業施設の設置を

公共交通機関の
充実、車道歩道の
整備を



あべ はるみち
阿部 春道さん



あらた こたろう いりえ かずき
荒田 虎太郎さん 入江 一輝さん

プロジェクト

洲本市の10年後、20年後

議場で市内3高校の生徒による議員と意見交換をしました。



3人の議長が議事進行!



洲本高校 平野 響議長
 蒼開高校 田中 星風議長
 洲本実業高校 富山 健汰議長

生徒からの政策提案については、すべての項目にわたり、理事者からの回答と、担当議員からのコメントを加え高校生たちに答弁しました。

蒼開高校の提案

- 1, 淡路島の自然の良さを一種の観光地にする
- 2, 旅行の時に子どもたちが遊べる施設がほしい
- 3, 交通について

自然の良さをもっとPRして活性化したい!



山之口 昊樹さん 中村 守孝さん

洲本実業高校の提案

- 1, 人と共に造るアドベンチャーシティ・洲本
- 2, 洲本から造る原動力
- 3, 若者と高齢者のシェアハウス
- 4, 移住者に向けた町づくり

若者と高齢者、世代を超えての交流を

人口減少改善に島外から移住者を集める

子どもが楽しめる遊び場があればいいな



松月 泰雅さん 山田 蒼叶さん



正井 愛菜さん



中村 菜茄さん 森下 颯樹さん

人がたくさん来ても通りやすい道を



坂上 昂大さん 太田 基博さん

総額2億6,466万円の補正予算を可決



市民生活を支援

◎定額減税補給付金不足額の支給 …… 1億9,000万円

子ども子育て対策

◎リーディングDXスクール事業 …… 89万9,000円
GIGA端末の標準仕様を十分に活用し、児童・生徒の情報活用能力向上を図る

特別会計

◎後期高齢者医療特別会計 …… 278万円

地域振興対策

◎域学連携推進事業 …… 2,000万円
地域外人材と地元企業との連携による新しい仕事の創出に向けた、マッチング機能を有するアプリ開発費など

◎中心市街地におけるオーバーツーリズム解消・未然防止対策推進事業 …… 3,529万円

◎共創モデル実証運行事業 …… 500万円

議案審査Q&A

域学連携推進事業

Q 活用目的は。

A 【企画課】スマホアプリを開発し、関係人口の増加、地域外人材の見える化や企業との連携強化、デジタル技術を通じた地域課題の解決に活用する。

Q どんな目的でアプリを開発するのか？

A 【企画課】大学連携の滞在状況や移動履歴を可視化し、また、非対面でも協議・情報共有が可能になる。洲本市を知ってもらい、最終的には移住・定住促進につなげる目的である。

保険薬局管理費

Q 【企画課】用途は。

A 医療センター敷地内の保険薬局は、条例に基づき市が設置し、家賃収入を得ている施設。パワーコンディショナーの劣化による故障のため、交換を予定している。

五色健康福祉総合センターの指定管理

Q 現指定管理者職員が引き上げると、職員の確保も大変なのは。

A 【サービス事業所】新しい指定管理者となる事業所との協議においては、マンパワーの確保に心配があったことから、現在の収容者



▲五色サルビアホール

数を減らして、確実に対応できるところからスタートし、継続しながら数を増やしていきたい。

洲本市リサイクルセンターの設置・管理条例

Q 月・火の週休2日とすることに対して、市民の方や近隣町内会の方に意見は聞いているか。

A 【生活環境課】「土日は利用者が多いので開けて欲しい」、「火曜なら特に心配することはない」とのご意見をいただいている。

市民交流センター維持補修事業

Q プールの部分補修だけでなく、施設を全体的に補修しなくてはいけないのではないかと。

A 【生涯学習課】現在、公共施設等個別施設計画の答申をふまえて、今後の検討を進めている。現在はプールが使えない期間が極力短縮できるような形で検討を進めているところである。

オーバーツーリズム対策

Q 街灯改修に3,300万円の予算を計上するとの事だが、どこの路線か。

A 【商工観光課】大浜公園から淡路島観光ホテルまでの県道で、張り出した歩道のライトをすべて交換する。低灯で、来島者向けの雰囲気づくりになるようにしたい。



洲本インター周辺の土地測量

Q 洲本インターチェンジ周辺の土地測量の目的は。

A 【商工観光課】将来的にバス停の待合場としての機能向上と、公衆トイレの新設について、地権者と協議する準備のためである。

下水道条例、コミュニティ・プラント条例の改正

Q 両条例で、他の市町村長の指定した工事店に排水設備工事を行わせることができる場合とは、実際にはどんな場合を想定しているのか。

A 【下水道課】排水設備工事は原則本市指定の工事店でないと工事ができないが、能登半島地震のような大規模自然災害が発生し、工事店自身も被害を受け対応できない場合を想定し、改正した。

討論

●報告第4号●

反対 近藤 昭文(日本共産党)

国保の基礎課税額1万円、後期高齢は基礎課税額2万円の引き上げの内容だが、医療費が切迫しているからと市民に負担を求めるやり方には限界が出てくる。今でも高いと言われる国保税であり負担を求めるのは反対である。

●議案第49号●

反対 久保 哲二(うずしお)

住民がよく利用する公共施設の見直しは、住民の意見を十分聞きながら丁寧に進めていく必要がある。現状では住民不在と言わざるを得ない。今でさえ混み合い危険を感じるが、休みを増やせば更に混み合い危険度が増す。よって反対する。

6月定例市議会

議決結果一覧

賛否の分かれた議案等

※議長(木戸隆一郎)は評決には加わらない。しかし、賛否回数時のみ表明し、議案の賛否を決定する。○は賛成、×は反対、欠は欠席。

件名	議員名	議決結果	近藤	間森	濱野	久保	高島	中野	福島	柳川	先田	原田	木元	小野	小松	福本	笹田	生田	清水
			昭文	和生	隆	哲二	久美子	睦子	昌幸	真一	正一	ひとみ	寿夫	章二	茂	巧	守	進三	茂
報告第4号	専決処分の承認	承認	×	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	洲本市リサイクルセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定	可決	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
請願第1号	洲本市ふるさと納税不正に関する第三者調査委員会設置に関する請願書	採択	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○

全員賛成の議案等

件名	
報告第3号	専決処分の承認
議案第46号	令和7年度洲本市一般会計補正予算(第1号)
議案第47号	令和7年度洲本市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
議案第48号	洲本市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び洲本市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定

件名	
議案第50号	洲本市下水道条例及び洲本市コミュニティ・プラント設置等に関する条例の一部を改正する条例制定
議案第51号	公の施設に係る指定管理者の指定
議案第52号	洲本市福祉医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定

※表記は、正式な名称ではありません。

請願第1号

ふるさと納税に関する
第三者委員会設置に関する請願

総務常任委員会に付託された請願第1号は、賛成少数で不採択となりましたが、本会議では賛成多数により採択されました。

討論

賛成 間森 和生(日本共産党)

第三者委員会や百条委員会が指摘した内容への対応はもちろん、牛の一头買いなどの問題が解明されていない。再度調査が必要である。

反対 福本 巧(宙)

請願理由と現状に大きな乖離かいりがあり、請願内容について十分な議論が無い状況において、直ちに第三者調査委員会の再設置を求める本請願には賛同できない。

賛成 久保 哲二(うずしお)

未だに不正の全容解明に至っていない。これは明らかに洲本市及び洲本市議会の調査能力の限界を意味する。外部の調査でなければ、市民の信頼回復は望めない。

賛成 生田 進三(無党派)

ふるさと納税問題について、本市は「我々の調査には限界がある」と発言。ならば、解明・解決のためには、新たな第三者調査委員会の設置が不可欠。

反対 笹田 守(「志」)

委員会では、請願者から説明がなく、紹介議員からは、求めた内容に回答がなかった。すでに、市の第三者調査委員会、議会の百条委員会で結論を出した。

賛成 濱野 隆(うずしお)

未解明の事実を検証し、税金回収へ。市政信頼回復へ第三者調査委員会の再設置を。

議案第53号・議案第54号

議案第53号・一般会計補正予算(第2号)
議案第54号・第三者調査委員会条例制定

賛否は可否同数＝議長採決で否決

6月定例市議会で請願第1号が採択されたことに伴い、7月臨時市議会に、議案第53号・第三者委員会設置のための2,922万円の一般会計補正予算、議案第54号・委員会条例制定が提案され審議されました。

総務常任委員会審査では賛成少数で否決されましたが、本会議での採決は、可否同数(棄権1名)となり、地方自治法第116条の規定により議長が否決と決しました。

討論

賛成 間森 和生(日本共産党)

第三者委員会の報告によると、高額な送料、梱包費が支払われた事実や、業者が負担すべきものなど未解明な部分がある。第三者により解明すべきだ。

反対 福島 昌幸(「志」)

本市におけるふるさと納税問題の本質ではなく、ふるさと納税問題から派生した問題であり、いわば枝葉末節ともいえる問題と考える。

賛成 生田 進三(無党派)

ふるさと納税問題を解明し、一部の団体、事業者を支払われた多額の金額の返還請求、逸失利益の請求を行う可能性を含んだ予算。市民の利益が最優先。

反対 福本 巧(宙)

これまでの調査内容の整理や行政サービスへの影響に対する慎重な議論をしないで、安易に第三者調査委員会を再設置しようとする本議案には賛同できない。

賛成 濱野 隆(うずしお)

議案は市民の声を実現し、信頼される行政を取り戻すための具体策。否決されれば市議会は市民の意思を裏切り、行政の説明責任を拒否することとなる。

賛成 久保 哲二(うずしお)

第三者委員会設置は、ふるさと納税の不正放置・黙認への危機感であり、不祥事の全容解明・損害額確定・市民への説明責任が目的である。いずれも議会の責任が問われている。

反対 小野 章二(「志」)

第三者委員会設置は、これまでの審議を振出しに戻すとともに、早期制度復帰に水を差し、行政サービスに影響を及ぼしかねない。条例にも不十分な点が見受けられる。

賛成 木元 寿夫(うずしお)

市長が必要と認めて提出した予算、条例である。市の書類が整ってれば、ふるさと納税復帰の支障にならない。市議会議員は、何を恐れているのか。

反対 中野 睦子(「志」)

根拠が明確でない、一市民の請願を受けて第三者委員会を設置することは、ふるさと納税復帰を願う多くの市民の声を無視する行い、断じて賛成できない。

賛成 先田 正一(公明党)

本議案については、継続して審議をしつつ、復帰に向けた動きに関しては更に進め、一方では、第三者の公平・公正な目で再調査すべきである。

反対 笹田 守(「志」)

ふるさと納税問題は、市の第三者調査委員会において、最終報告がなされた。議会も、特別委員会及び百条委員会において、出来る限りの調査を実施している。

7月臨時市議会

議決結果一覧

賛否の分かれた議案

※議長(木戸隆一郎)は評決には加わらない。しかし、賛否同数時のみ表明し、議案の賛否を決定する。○は賛成、×は反対、棄は棄権。

件名	議員名	議決結果	近藤昭文	間森和生	濱野隆	久保哲二	高島久美子	中野睦子	福島昌幸	柳川真一	先田正一	原田ひとみ	木元寿夫	小野章二	小松茂	福本巧	笹田守	生田進三	清水茂
議案第53号	令和7年度洲本市一般会計補正予算(第2号)	否決	○	○	○	○	×	×	×	棄	○	○	○	×	×	×	×	○	×
議案第54号	洲本市ふるさと納税問題第三者調査委員会条例制定	否決	○	○	○	○	×	×	×	棄	○	○	○	×	×	×	×	○	×

※表記は、正式な名称ではありません。



動画QRコード

物価高騰対策の継続と更なる支援を要望

さき た しょう いち
先 田 正 一 (公明党)



物価高騰対策

Q 本市の物価高支援は。

A【財務部】高齢者、障害者施設に対する光熱水費などの補助、非課税の高齢者世帯に対するタクシーなどの助成利用券の配布を実施。児童福祉施設や学校施設に対する食材費の補助を実施。さらに、生活者支援として、プレミアム率を25%に引き上げたプレミアム付デジタル商品券発行の支援などを行う。追加支援の実施も検討する。

観光振興

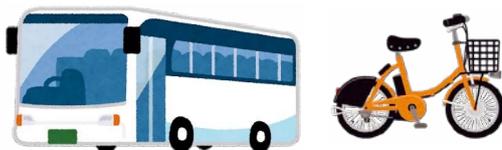
Q 神戸空港の国際化に対する本市の考えは。

A【企画情報部】神戸空港を利用するインバウンドの増加が期待される。淡路島全体では、好機と捉え、兵庫県や神戸市、関西エアポート株式会社にも協力・支援いただき、地域振興策を展開する予定である。また、近年は神戸空港と淡路島を結ぶ高速バスも増便される傾向にある。

Q 地域活性化への取り組みは。

A【企画情報部】令和7年度から多子世帯地域周遊促進に関する実証を実施予定。GPS機能付き電動アシスト自転車を街中に整備し、リースで手軽に利用できるようにするほか、夜間の温泉街と繁華街の間を小型の観光シャトルバスでつなぐ取り組みを予定している。

この他、熱中症対策として、クーリングシェルター、家電買い替え補助、住宅の省エネ化、学校体育館へのエアコン設置などについて質問しました。



動画QRコード

どうなっている？部活動の地域移行！

ふく しま まさ ゆき こころざし
福 島 昌 幸 (「志」)



由良地区の避難経路

Q 由良地区住民の高齢化率は高く、歩行困難な方が多いため避難経路の整備、維持管理は不可欠だと考える。公助という観点から見た問題や課題は。

A【総務部】避難経路は、家屋倒壊などで通行困難になる可能性も高く、実際にどのような状態になるかわからないことが多くあり、複数の経路を予め設定するよう、今後、出前講座や防災訓練などを通じて呼びかけている。

どうなっている？部活動の地域移行！



Q 令和9年度の完全実施を目指す方針転換した理由と経緯は。

A【教育長】各校での部活動の運営が困難になってきていること、また、休日のみ地域へ移行した場合に、平日と指導者が代わって混乱が生じることなどを懸念し、9年4月から完全移行することとした。

Q 地域移行を支援する体制をどのようにして整えていくのか。生徒や保護者、地域の方々が持っている期待や戸

惑い、不安、疑問などにどのように対処していくのか。

A【教育長】自立した持続可能な活動となるよう、支援と自主性のバランスを見極めながら支援体制を整えていく。期待や戸惑い、不安、疑問などに対しては、できるだけ速やかに方針を定め、ホームページなども活用しながら情報提供に努める。

令和9年4月から
地域クラブ活動を開始します。

(令和9年3月31日で中学校の部活動を終了します。)

洲本市教育委員会



「学校部活動」から「地域クラブ活動」へ

※一般質問は、本人の意向を尊重して編集しています。



上崎市長は住民説明会で説明責任を果たせ！

くぼ 哲 二 (うづしお)



動画QRコード

ふるさと納税問題

Q 公益通報の調査結果について、令和7年3月31日に市長名で魅力創生課の物品販売において支出金の確認は出来るが、売上金の確認が出来ず、違法または不当な事実が判明したとの報告があった。物品購入には300万円余りの支出金を確認出来るが、入金されたのは17万円余りであり、差引き300万円近い不明金が発生している。職員からの公益通報はいつか。

A【総務部】当該公益通報は5年8月25日である。

Q 通報があった5年8月は、第三者調査委員会が調査を行っている時期である。この内部通報は第三者調査委員会に報告しているのか。

A【総務部】公益通報者保護法に基づく指針により、通報事実に係る情報の範囲外共有などが禁止されているため、報告はしていない。

Q 公益通報委員長である浜辺副市長に何うが、第三者調査委員会に報告しなかったことは、正しいと思っているのか。

A【副市長】指針に沿った正

しい対応と考えている。

Q お節料理の賠償について専門家の調査結果を伺いたい。

A【財務部】専門家の確認作業が終わったが監査委員に監査請求を依頼しているところである。その内容についての答弁は差し控える。監査委員が決定された後、損害賠償請求を考えている。



健康寿命を延ばしてピンピンコロリと！

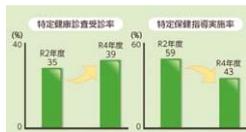
きもと 寿 夫 (うづしお)



動画QRコード



Q 島内2市と比べて特定健診の受診率が低い対策は。



▲健康すもといいききプラン(概要版)より

A【健康福祉部】JA組合員、漁業組合、商工会などへ受診勧奨するなど対策を講じている。

Q 五色健康福祉センター(サルビアホール)指定管理者変更に伴う入居待機者への説明は。

A【健康福祉部】令和7年度当初より新規受け入れを休

止している。入所者家族77名、入所待機者24名、その他事業所に説明文書を送付した。

Q 市の基金をどのように運用しているか。運用に関する含み損は。

A【財務部】普通会計基金の約70億円のうち、約42億8,000万円を国債などの債権で運用しており、令和5年度末時点で含み損は、2割程度。取り崩しをせず、満期まで保有することで、損失額は発生しない認識である。

Q ふるさと納税問題で告発

した損害賠償の進捗は。

A【財務部】監査委員に損害の事実認定並びに賠償責任の有無及び金額の決定を依頼中であり、その後に損害賠償を請求したい。

Q 男性部長に対する暴力行為があった件で、ふるさと納税の説明を求めてられた際、名札を引っ張ったその市民が悪いのか、対応が悪いのか。

A【総務部】全ての職員が、丁寧な接遇を心がけており、当該部長はクレーム対応についての研修を受けている。



動画QRコード

迅速なプール再整備で市民の健康と笑顔を！

はら だ ひとみ (公明党)



市民交流センター ドルフィンプール

Q 市民交流センタープールの現状は。

A【教育委員会】 築36年。老朽化により不具合が発生し一時使用停止に。市は点検を強化し、安全管理を徹底しながら継続利用に努める。

Q 安全・衛生対策と市民への情報公開の対応は。

A【教育委員会】 市は安全確保と衛生管理の徹底に努め、安全点検と必要に応じた修繕、補修を行う。今後は市民へ

の情報公開を指定管理者のホームページや市のホームページなどでより丁寧で分かりやすい情報提供を考えている。

Q 今後の施設のあり方と早急な対応への考えは。

A【教育委員会】 公共施設等個別施設計画を踏まえ、大規模改修や建て替えを含め検討中。市は安全を最優先し、速やかに、着実に対応を進める。



子どもと家庭の 孤立を防ぐ支援

Q 子どもと家庭の孤立を防ぐため、本市の児童育成支援拠点事業の認識と、支援体制の整備は。

A【健康福祉部】 児童虐待や不登校などの複雑な課題に対応し、子どもの権利を守るため、児童育成支援拠点の必要性を認識している。

市は関係機関と連携し、個別支援や地域の居場所を活用し、包括的に子どもと家庭を支える体制づくりを進める。

「地域力」を引き出す行政の推進を！



動画QRコード

おのしょうじ こころざし (「志」)



観光振興

Q 昨今の観光ニーズに対しての認識と今後の対応は。

A【産業振興部】 時代とともに変化するニーズを捉えながら、市民及び来訪者が感動するまちを目指し、交流人口や関係人口の増加につながる観光振興を図る。



Q 地域住民が主体となる、観光まちづくりについて、行政の関わりは。

◀あわじ島 鮎屋組 滝テラス

A【産業振興部】 民間事業者や個人が行う催事や取り組みなどを応援し、市主催イベントにおいても連携、協働しながら、まちの発展に取り組みたい。

公共交通

Q 公共交通事業分野で何が「喫緊の課題」か、課題に対する対応は。

A【企画情報部】 交通事業者においては、運転士不足と高齢化が課題とされている。対応として、国では、普通第二種免許取得の為に教習時間短

縮などが検討されており、本市も交通事業者と連携しながら、有効な施策を実施したい。

Q 国の動向も含め、今後、本市の公共交通はどのようにあるべきか。

A【企画情報部】 現在国では、自動運転の推進やライドシェアを過疎地などに展開しようと考えているようで、本市としても公共交通の空白地の解消、利便性向上のため、近隣市や地域の交通事業者とも連携を図りながら、公共交通の充実に努めていく。

※一般質問は、本人の意向を尊重して編集しています。



ふるさと納税問題の徹底解明を要望

いく 生 田 しん ぞう 三 (無党派)



動画QRコード

Q ㈱アルファビアの牛一頭買い22頭分の請求書について、(有)四国レジャー企画31頭分と同様に、送料、梱包費が請求されていない理由は。

A【財務部】同一経営グループのほかの事業者が、その肉を使って返礼品を作って発送していたため、送料、梱包費は発生していない。



▲牛肉個体識別番号

Q 当該事業者は、枝肉を加工するための食肉処理業の許可を取っていたか。

A【財務部】事前の通告にない質問で、準備ができておらず、答えられない。

Q ㈱アルファビア、(有)四国レジャー企画の牛一頭買い分、それぞれの個体識別番号に該当する送料、梱包費の請求日、㈱淡路島の恵みの牛一頭買い分、それぞれの個体識別番号に該当する件数、送料、梱包費は。

A【財務部】仕入れ業者ごとに返礼品送付先を整理するようには依頼していなかった

ため、答えられない。

Q (第三者調査委員会最終報告書にも記載の) 返礼品に係る送料、梱包料の過大請求などについて調査する気持ちはあるか。

A【財務部】調査する気持ちはあるが、我々ができる調査というのは限られている。

Q 限界があるのであれば、他の方法を探すべきでは。

A【財務部】現状、特に何もそのことについては、考えているものではない。

地域活性化に向けた積極的な補助金・支援制度の活用を！



ささ だ まもる ころざし 笹 田 守 (「志」)



動画QRコード

持続可能な観光推進事業

Q 補助事業の概要や本市の申請内容、全国の採択状況は。

A【産業振興部】観光地における住民生活への影響などを未然に防ぐため、計画策定や対策など、地域が実施する取り組みを支援する観光庁の補助金である。本市が主体となり、地域事業者、住民関係者などに参画いただき、地域課題に対する計11の取り組みを実施する。

一次公募の結果、地域一体型の応募の中では、関西での採択は、京都市・奈良県・洲本市の3地域となっており、本市が

受ける補助金額は約5,800万円である。

共創モデル実証運行事業

Q 補助事業の概要や本市の申請額は。

A【産業振興部】多様な関係者の連携・協働により、地域交通の維持・活性化に取り組む実証事業を支援する国土交通省の補助金事業である。今回は、本市が実施主体となり、交通・商工業界含む計9の主体が連携・協働しながら事業を行う。

具体的には、中心市街地において、GPS機能付き電動アシスト自転車(Eバイク)を街中に

リースで計20台整備し、さらに、交通空白となっている夜間の温泉街と繁華街において、小型の観光シャトルバスを運行するもので、本市が受ける補助金額は500万円である。

この他、国民健康保険税、今後の教育問題、部活動の地域移行についての質問を行いました。



▲「持続可能な観光推進事業」の取り組みの1つとして、周辺の測量などを行う洲本Cバス停。将来的な環境改善を見据えている。



動画QRコード

不正取得PC3台は本当に商取引・売買？

はまの 濱野 たかし 隆 (うづしお)



Q 1台目PCは文具店贈賄、元課長収賄の贈収賄事案では。

市が調査依頼した弁護士法人がヒアリングを行った。

A 【総務部】 軽々な発言は控える。

Q 本市損害額は。誰が賠償したか。

Q 女性職員の1年間庁舎内保管を第三者委へ報告したか。

A 【総務部】 1台目PCと関連品24万7,104円から元課長支払12万円差引額と遅延損害金合計額。賠償したのは、元課長から指示され市に架空請求した文具店である。

A 【総務部】 保管事実は無い。PC取得が確認されたのは、第三者委の報告書提出後であり、報告していない。

Q 「元課長が個人で購入」とは、いつ、だれがヒアリングしたのか。

Q 2台目PCと関連品45万7,116円を元課長は当初から全額支払ったか。

A 【総務部】 令和6年6月に

A 【財務部】 5年3月29日に全額を支払っている。

Q 3台目PCと関連品52万5,880円を元課長は当初から全額支払ったか。

A 【財務部】 捜査に支障があり答弁は控える。

Q 副市長のPC買取は、元課長の収賄を隠すものではないか。

A 【副市長】 商取引・売買であり、贈収賄成立の余地はないと認識している。

元課長が不正取得したPC(約45万円)
※写真はイメージです



動画QRコード

住居や仕事・助成など移住・定住施策の充実を

まもりかずお 間森利生 (日本共産党)



Q 移住者や新生活者への支援は。

Q 担い手を確保する奨学金返済支援は。

A 【企画情報部】 移住活動における交通費や宿泊費への一部補助、滞在支援に最大で10万円を補助。新生活世帯で住居を取得する場合は、最大で100万円、中学生以下の子がいる場合など加算する。

A 【産業振興部】 「洲本市若手人材確保奨学金返還応援中小企業支援事業補助金」では、従業員の奨学金返済を金銭的に支援している中小企業に、「洲本市未来の担い手確保奨学金返還支援補助金」では、本市に住民票を置く市民に対して、それぞれ経費、返還金の補助を行っている。

Q 空き家に移住・定住するための県の空き家活用支援事業が早々と締め切られたが。

Q ごしきこども園開園後の保育園や五色健康道場の利用計画は。

A 【都市整備部】 県の空き家活用支援事業であるが、県に対して予算枠の拡充を要望してきた。7月から追加募集をする。

A 【健康福祉部】 建物の老朽

化が著しく、借地である都志・鳥飼・堺保育園は、契約期間が満了した場合原形に回復して返還する方向で協議する。健康道場は、今後倉庫として利用しながら検討をしていく。

この他、ふるさと納税問題へのさらなる調査や対応を求める質問を行いました。



▲五色健康道場

一般質問

※一般質問は、本人の意向を尊重して編集しています。



目と耳のフレイル予防の啓発、取り組みを

こん とう あき びみ
近 藤 昭 文 (日本共産党)



動画QRコード

農業振興、米政策

Q 減反政策廃止と言いながら生産量を抑制する事実上の減反が続いている。農業の現状認識は。

A【産業振興部】農業従事者の高齢化や農家戸数の減少など、担い手不足を背景に厳しい状況にある。



▲田植えの様子

Q 農業を基幹産業と位置付けて、米の増産と所得補償を行い、国の責任で需要と供給を確保するよう、本市として国や県に要望できないか。

A【産業振興部】国でもさまざまな論議が行われており、動向を注視していく。

目と耳の健康寿命

Q 白内障や緑内障など目の機能低下、目のフレイル予防するため、検診や眼科受診を呼びかけては。

A【健康福祉部】百歳体操、出前講座など地域での集いの場において、フレイル全般の予防を啓発している。

Q 補聴器購入助成の準備や周知は。

A【健康福祉部】「洲本市聴こえGENKI事業」で実施、申請受付は7月15日から。高齢者が集まる行事に出向いたり、市HPや広報紙などで周知する。

豪雨、台風など災害対策・対応

Q 災害発生時や緊急時の対応は。

A【都市整備部】洲本市建設業共同組合と災害応急対策業務委託を契約している。

この他、老朽ため池改修の進捗状況について質問を行いました。

「ワクワクするような洲本市へ！」



なか の ちか こ こころざし
中 野 睦 子 (「志」)



動画QRコード

移住定住促進

Q 本市の基本的な考え方は。

A【企画情報部】比較的若年代をターゲットに移住前・後の段階に応じた支援をしている。

Q 本社機能移転、IT企業の誘致など、企業誘致の見込みは。

A【産業振興部】現在複数の協議が進行中である。IT企業の誘致には、県事業の随伴補助として「洲本市IT関連事業振興補助金」を実施している。

Q 女性の単身移住者への支援は。

A【企画情報部】本市は今年度「若者・女性に選ばれる地方をつくるための地域働き方・職場改革に向けた取り組み」において、全国68自治体の1つに選ばれ、仕事を切り口とした施策を実施する予定。

DX推進

Q DX推進による本市の未来像は。

A【企画情報部】戸籍や税、国保など窓口業務で利用し

ている基幹系システムの標準化と、ガバメントクラウドに運用体制を構築・移行する共通化を進めており、「書かない窓口」の実現と行政手続きのオンライン化、窓口のワンストップ化に取り組み、最終的には各種市民生活に必要な手続きは、市役所に来なくてもデジタルで行える形へ展開したい。



▲淡路島洲本移住ナビ <https://sumo-navi.com/>

効果的な議会運営と議会の活性化に向けて 先進的な取り組みを調査

議会運営委員会

7月8日、土岐市議会では、議員定数の適正化と定数削減に伴う常任委員会の構成について調査しました。過去の調査結果から議員定数を適正としましたが、今後の人口動向に応じた再検討を要するものとし、常任委員会の構成については、より効果的な運営方法とする検討が進められていました。また、翌日の9日、四日市市議会では、議会基本条例に基づき、市民モニター制度の導入や、シティミーティングの開催などを通して市民参加を促す取り組みを進め、市民の意見がより反映される議会運営に努めていました。



▲四日市市議会

市民の要望提言を反映するサポーター制度

広報広聴特別委員会

岩倉市議会は平成30年、全国初の議会サポーター制度を設置しました。7年度は、無作為に500名に案内を送り、返信のあった希望者で、新規11名、再任12名の23名が就任しました。年代は、18歳から60歳代まで幅広く、中高生のサポーターもいるそうです。



議場やライブ配信など、定例市議会を何らかの形で傍聴し、翌月に開催する意見交換会で、議会運営に関することについて意見をいただくほか、フリートークを行っています。専門知識を持つ市民の参加もあり、若い方からの色々な意見が出ることを期待しているそうです。今までは議会報すら読んだことのない方とフランクな関係になり、議会の応援団に加わってくれる、それが議会サポーターの意味だと話されていました。

もっと

議会の活動を 知るには・・・

本会議を傍聴

本会議・委員会は、簡単な手続きでどなたでも傍聴できます。

本会議の様子を生放送

令和6年3月議会より、㈱淡路島テレビジョンのCATV放送(行政放送122Ch)で本会議を生放送しています。傍聴に来るのが難しい方はぜひご覧ください。

代表質問・一般質問を録画放送

議会の閉会后、㈱淡路島テレビジョンのCATV放送(行政放送122Ch)で、議員の代表質問や一般質問の様子を録画放送しています。放送日時は、議会ホームページにも掲載しています。

YouTubeで代表質問・一般質問を配信

議会だよりの発行にあわせて、各議員の質問動画を配信しています。各議員のQRコードや議会ホームページから動画を視聴できます。動画の配信期間は、定例会の会議録が公開されるまでとなっています。

会議録を公開

議会ホームページで、本会議の会議録を公開しています。

[会議録検索システム](#)



所管事務調査

市議会では、議会が閉会中、それぞれの委員会が所管する事業について、報告を受け調査をしています。調査内容をお知らせします。

総務常任委員会

手作り感あふれるあたたかい【よりまち荘】

6月3日

所管する組織は、3つの部、3つの行政委員会、五色総合事務所、会計課など多岐に渡り、各課より所管する事業や事務など21項目について、実施状況を調査しました。

現地調査では、五色台霊園、うめばち会館、備蓄倉庫となっている旧洲本市民体育館、よりまち荘を視察しました。よりまち荘は、域学連携に関わる人の拠点とするべく、地域おこし協力隊が中心となって運営・活用がされており、関係人口拡大に寄与するとともに、若い人たちがいろいろな経験をすることで、これからの人生を歩むための、とても良いステップとなるのではと感じました。



▲地域おこし協力隊員による【よりまち荘】の説明

教育民生常任委員会

資源ごみ回収でもっとリサイクル♻️

6月5日

所管事務調査では、消費生活推進事業、飼い主のいない猫対策事業、特定健康診査事業、ペアレントメンター事業、子育てにやさしいまちづくり事業、自立支援型地域ケア個別会議、中高生への出張教育(いのちの教育)事業、介護サービス事業、NEXT GIGAスクール推進事業、部活動指導員配置事業、洲本城整備事業について調査を行いました。

現地調査では、大規模改修工事を行った洲本市健康福祉館や、石垣の修理などの整備を行っている国史跡洲本城跡、五色ストックヤードを視察しました。



▲五色ストックヤード

産業建設常任委員会

頑張る農業者の耕地整備事業を調査

5月19日

産業振興部より地域計画策定推進事業やプレミアム付き商品券事業、都市整備部より空家対策事業や公共下水道整備事業など合計17事業について調査を行いました。中山間地域活性化推進事業については、40集落で実施が予定されています。地域計画策定推進事業では、事業に取り組む66集落のうち、33集落では、すでに計画が策定されており、残り33集落については、現在計画策定に取り組んでいる状況であるとのことでした。

現地調査では、高田屋嘉兵衛公園、相原地区ほ場整備現場、公衆用トイレを整備した先山など5箇所、それぞれ状況の報告を受けました。



▲相原地区ほ場整備現場



『ありがとう』の笑顔、見守りつなげる安心感 洲本市民生委員・児童委員連合会と意見交換

テーマ 現状と課題

令和7年7月3日洲本市役所6階議会会議室にて洲本市民生委員児童委員連合会と意見交換会を行いました。



民生委員の皆さんからのご意見

- ・欠員が続いても仕方ないで終わらず、地域に一人でも安心を与える存在が必要。民生委員の役割や推薦基準を見直し、今の時代にあった見守り体制を整えることが大切。
- ・洲本市は女性民生委員が少なく京阪神では女性が多いので偏りがある。女性の意見も反映できるよう、女性の参加を促してほしい。



Q 民生委員のやりがいや、それを感じた経験は？

A【民生委員】初めての民生委員活動で戸惑いもあったが、地域への愛着や自身の成長を実感。充実感と必要とされる喜びを感じている。

【民生委員】仕事と両立しながら民生委員を7期務め、地域の感謝の言葉や信頼が励み。住民に支えられた貴重な経験となった。

今回の意見交換で地域課題を共有し、共通認識の大切さを実感しました。今後も定期的に開催し、顔の見える連携で課題解決を進める必要性を確認しました。

令和7年度 淡路議会議員研修会

地域の未来を創る双方向のコミュニケーション

NPO 法人学習学協会 代表理事 本間 正人 氏

7月22日(火)、五色文化ホールで「地域の未来を創る双方向のコミュニケーション」というテーマで、本間正人氏を講師に研修を受講しました。ワークショップを挟みながら、終始和やかな雰囲気の中で、コーチング(引き出す)の基本の考え方・傾聴のスキル・質問のスキルなど、我々議員が市民の方々とコミュニケーションをはかる際の重要なスキルを学びました。これまで以上に広く市民の方々の声を聞く努力・取り組みが大切であることに気づきました。

今後の市政報告会・懇談会に今回学んだスキルを生かせるように頑張ります。





「Sumotoのミライ」プロジェクト スタートアップミーティングの様子

7月16日の本番を迎えるまでに、高校生たちとワークショップ形式で、発表準備を行いました。

5月17日 蒼開高等学校



6月4日 洲本実業高等学校



6月17日 洲本高等学校



9月定例会市議会の予定

- 8月29日(金) 常任委員長会
- 9月2日(火) 議会運営委員会
広報広聴特別委員会
- 9月5日(金) **本会議(第1日)**
- 9月12日(金) **本会議(第2日)**
- 9月16日(火) **本会議(第3日)**
- 9月17日(水) **本会議(第4日)**
- 9月18日(木) 常任委員会
- 9月19日(金) 常任委員会
- 9月22日(月) 常任委員会
- 9月24日(水) 決算特別委員会
- 9月25日(木) 決算特別委員会
- 9月26日(金) 決算特別委員会
- 9月29日(月) 決算特別委員会
- 9月30日(火) 決算特別委員会
- 10月1日(水) 予備日
- 10月2日(木) **本会議(第5日)**

※請願の提出を検討されている方は、議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

◆6月中に梅雨も明け、今年もいよいよ夏がやってまいりました。◆今年度は3年ぶりの広報広聴委員です。3年ぶりの広報広聴委員会は大きな変化として高校生との意見交換会が開催され、議会活動も着実に前進しているな、と感じました。これからの未来を担って行く若者たちとの交流は希望と感謝にあふれ、この若者たちの未来に責任を持たなければならないと思いました。今や高校三年生が選挙権を持つ、そんな時代の変化に合わせて、議会でも改革が進んでいることを実感でき、変わったなあとしみじみ思う今日この頃です。◆これからも守るべきものは守り、変えるべきものは変え、より良い洲本市になって行くことを願います。最後までお読みいただき、ありがとうございました。(高島)

表紙

募集中!!

写真



洲本市議会 🔍 検索

市内で撮影された風景、イベントなどの写真で表紙を飾りませんか？
詳しくは市議会ホームページをご覧ください。